

認知症の医療現場と研究現場から

早期発見・予防・リハビリを考える

認知症セミナー

日時

3/12 (火) 14:00~16:30

会場

新都心ビジネス交流プラザ 4階会議室C
さいたま市中央区上落合2-3-2

定員

60名(先着順)

参加費
無料



埼玉県マスコット
「コバトン」「さいたまっち」

介護現場や医療現場で認知症の方などと接する機会のある皆様に、認知症に関する現状と今後の動向、最新の研究などを分かりやすく紹介します。

是非、お気軽に御参加いただき、皆様の御意見もお聞かせください！

プログラム

- 講演1 (仮)「認知症と医学的動向」
講師：埼玉精神神経センター 院長補佐 島津 智一 氏
- 講演2 「認知機能・運動機能改善効果をもつ
ドラム・コミュニケーション・プログラム」
講師：理化学研究所 研究員 宮崎 敦子 氏

セミナーの概要



<プロフィール> 医師：島津 智一 氏

埼玉精神神経センター院長補佐 医学博士

埼玉精神神経センター院長補佐として埼玉県内での診察、治療、ケアなどにあたりつつ、認知症の早期発見・予防に取り組まれています。また、さいたま市から委託を受けた、認知症疾患医療センター脳神経内科医師として、物忘れ外来も担当され、日々認知症の方やその家族の方と向き合い、相談・診断・治療に熱心に取り組まれています。

<講演概要>

脳神経内科医師として認知症医療の現場に携わる島津氏より、認知症の現状と医学的動向、先端医療に関して講演します。



<プロフィール> 理化学研究所：宮崎 敦子 氏

科技ハブ産連本部 バトンゾーン研究推進プログラム 中村特別研究室 研究員博士（医学）

明治26年創設の社会事業を営む家に生まれ、現在、理化学研究所では神経科学と連携したニューロ・リハビリテーションを中心に、特に音と脳の関係について研究しています。

<講演概要>

リズム反応運動は重度認知症患者でも維持している能力で、認知機能と高い関係性のあると報告されています。今回、日常生活で指示が伝わらない認知症の方でも、3ヶ月間のドラム・コミュニケーション・プログラムによってコミュニケーションと認知機能に改善が期待できるという試験結果についてご紹介します。このプログラムは音楽の経験や訓練に関係なく参加でき、多くの施設で導入可能なプログラムを目指した研究開発の状況についてもお話します。

会場へのアクセス



北与野駅より：
下車徒歩約1分

さいたま新都心駅より：
西口徒歩約8分



(建物外観)

参加申込書

平成31年 月 日

貴社名			
参加者	部署・役職名	氏名	
業種			
住所			
連絡先	E-mail	Tel	Fax

お申し込み先 FAX 048-830-4816 E-mail a3760-03@pref.saitama.lg.jp

申込期限：**平成31年3月8日（金）**までにお申込みください。

受講票は発行いたしません。当日、会場へ直接お越しください。



【主催】埼玉県 産業労働部先端産業課
【共催】国立研究開発法人 理化学研究所